

平成24年度 第3回学校運営協議会

H24.10.4 (木) 15:00 ~ 16:30 於：多古高校会議室

次 第

- (1) 開会のことば
- (2) 教育委員会あいさつ (生涯学習課学校・家庭・地域連携室 副主幹大胡克己)
- (3) 日程等説明 (事務局教頭)
- (4) 議事
 - ア 多古高校魅力づくりに向けたアンケートについて
 - イ 学校運営協議会としての取り組みについて
 - ウ 質疑応答
- (5) 閉会のことば

平成24年度学校運営協議会 (第3回)

協議記録

J 委員

教頭からアンケートの分析、校長から改善策の説明がありましたが、今回は、魅力づくりに向けたアンケートと学校運営協議会としての取り組みが議事です。

では、質疑応答に移っていきませんがまず、学習指導面でご意見をいただきたいと思います。

C 委員

基礎基本の学力の充実というのがおおもとになる大事な要素であると思います。全校での学習コンクール、例えば全校漢字一斉テストとか上位10名を表彰するとか計算コンクール等を学校全体で取り組んでみるとよろしいのではないかと。

J 委員

アンケートの中に普通科がこれといった特色がないということが上げられています。委員の方からも学力に力を入れて欲しいと意見は言われてはいたが、特色がある学級をつくることについてはどうですか。

B 委員

3クラスの普通科のあり方ということは、前から問題とされていた。英会話ができる子どもが必要とされているが小学校から勉強し、卒業するときにはどれだけ話せる生徒がいるか英語の先生にお聞きしたい。外国で通用する英語ができる卒業生がこの学校からどんどん出て来て空港などで活躍できるようになる。地元の子ども以外にも他の市町村からも入ってくる。あわせて多古町には学習塾がいっぱいあるが、多古高校では、塾に行きながら大学進学を目指しているような生徒は何人くらいいるのかお聞きしたい。

英語担当

海外に行つての会話力は理想です。高校では、カリキュラム上読解、文法、オーラルコミュニケーションの授業を行っています。授業のほか英語検定も行つてはいるが受験生は多くはな

い。スピーチコンテストでは、今回4名の生徒が出場し、入賞できるような形に近づいている状況です。

進路担当

本校の進路は、大学が15～20%、専門学校が35%、就職が50%の状況であり、大学進学は、AO入試や指定校推薦制度を使って進学する生徒が大半であり、塾に通って大学を目指している子はいないと思われる。

J委員

普通科の3クラスをもっと特色あるクラスににするように検討していただきたい。続いて進路指導については、どうですか。

I委員

昨年度の就職の結果の状況から今年度の目標をどのように設定しているのかお聞きしたい。

進路担当

昨年は、就職は、10名未決定者がいた。何度もチャレンジしてだめだった。縁故で難しい子がいた。今年度の目標は、学校斡旋が78名います。縁故が8名、自営5名であり、今59名が受験であり10名が結果待ちである。現在29名が内定し、16名が不合格であり、64%の内定率です。昨年度の実績は、最終的には58%であり、求人数も増え、少し良い傾向になると思われる。男女比をみると男子の不合格が多くなっている。原因は、よくわかりません。男子の求人数は多いが見込みはある。目標は全員が就職出来るようにと考えている。

J委員

他に就職の方でどうですか。

B委員

キャリア教育の職場体験では、中学生は一生懸命であるのに高校生の場合は、こちらから質問しないと返事が返ってこない状況があり、お互いに会話出来る高校生が少ない。自分から質問できる力がなければ行った意味がない。

J委員

キャリア教育では、平成18年に文部科学大臣賞を頂いていますが、インターンシップの質問でご意見がありますか。

H委員

取り組み状況についてどうですか。

担当学年

昨年度から希望制で行っている。今年度は、3学期末から1月いっぱいかけて行う予定である。今のところ不確定ではあるが30数名の希望が出ている。

D委員

昨年から今年からは全員で取り組むように意見を述べてお願いをしているはずですが、また希望者で断ち切れることについてはどうですか。

学校担当

確かに昨年度お聞きしています。全員参加で行ってききましたが、会社への依頼等が大変になってきており、3年間については希望制でやってみようということになり、昨年度から希望制になっています。これについては今後検討することになっています。

J 委員

この問題につきましては、キャリア教育協議会でも取り上げられているが、地元にも協力してもらいながら、今後学校の方でも検討をお願いしたい。では、それでは、生徒指導についてはどうか。悪しきイメージがかなり残ってはいるが、十年前とは違って来ているが、質問等受けたいのですがいかがですか。

K 委員

資料の朝日新聞の記事に「学校運営協議会が権限を充分行使できていない。」ことが書かれています。権限のひとつに「教職員の人事について教育委員会教委に意見を言える。」ということがありますので、それに関連して教職員スタッフについてお話しします。改善策にあったように、全員参加の生徒指導を充実するにも、部活動を精選充実するにも、学校組織としての教職員組織が大事だといえます。現在の組織力や教師力の現状について、校長先生の考えや希望をお聞きしたい。

G 委員

生徒指導については 50 数件あるが教員の不協和音はない。中学校の教職員と比較して高校の先生は独自性が強く協働性において鈍いという感じはある。また、教員の集団の一致した行動がとれていないことからスカートの丈が短かったり等不一致がある。したがってまだ、足並みのそろった教員集団とはなっていない。部活動に関して教員の専門性がないので、専門性のある教員を配慮してもらいたいことを委員会に要望したい。

J 委員

日本一礼儀正しい工業高校があるようである。生徒指導で変わっていった高校もあるが生徒指導は大事な問題であると思います。また、部活動に対して専門性の持った人事が必要と思わます。

D 委員

何年か前に窃盗事件があり、親と話をする機会がありましたが、先生がちゃんと指導してくれないとかある先生の指導が甘いからということを知りました。親の教育をどうしたらよいか。ただ授業だけではなく親を集めて話をする機会をつくってもらえるのではないかと考えます。

B 委員

関連しますが、ゴルフ部の話ですが、多古高校に進学する中学生がいない。もっと技術を身につけたいことから私学を選ぶことになるのですが、中学校の父母会で、最近生徒が乱れているということで練習しているゴルフ場の支配人も困っている。バックの置き方などいい加減になっている。また、飲食の指導を誰がやったらよいか問題になっている。保護者会からは、是非学校では、集団的なものは指導をして欲しいということでした。しかし家でできることもたくさんある。親として”ただいま”, ”おかえり”, ”行って参ります” の最低のことは親の責任でやるべきだと思います。学校と家庭と地域と一体とならなければ解決しないのではないかと思います。

H 委員

部活動7つに絞り考えていこうとしているが、顧問が部活の時間に密着した時間がつくりにくいゴルフであれば地域で興味をもっている指導をお願いするかまたは、中学との連携を図りながら先生の仕事の軽減を図ることが大事であり今後検討して欲しい。

J 委員

いろいろ難しい問題がありますが、ゴルフでの外部講師についてはどうでしょうか。

B 委員

指導までできる先生が顧問はしている。所詮プロも自分の生活もあり生涯スポーツでもあり個人指導はなかなか難しい。多古っ子ゴルフクラブ40名ぐらいあるが色々アドバイスもあり色んなものを身につけさせられるが外部が絡むと多古に来るとただでできるこれがしわよせになっている。しかしながら、生涯スポーツとして本来の形になっていくと思われませんがよろしくお願いしたい。

I 委員

人事、予算について具体的に何ができるかできることを考えてもらいたい。人事交流で部活動に限らず優秀な人材が欲しい。人事の交流の復活をお願いしたい。予算についてですが、サッカー部のコートが半面しかない。しっかりとしたコートができないかということで高台の場所があるがあの土地でコートを作っていけないだろうか。地域連携ということで部活動交流ができないものか。県教委、町でご協力をいただき、施設整備の予算などを考えていってもらいたい。

J 委員

小中の人事交流はタイミングがあり、難しいところもある。また、運動施設についてもできるようになると良いと思います。

B 委員

関連して中高の交流人事はゼロであって残念である。その事で多古中学校の陸上の専門がいなくなった。陸上で県の駅伝大会に出ていないなど大変ショックを受けている。教員の人事交流は大変重要であるが良い子供たちにするために良い人事になるようにお願いしたい。

J 委員

中高の交流のシステムも変わり、残念な形も出てきてしまっているが、学校運営協議会で検討していきたい。

B 委員

学校運営協議会から県教委に要望していかなければならないと考える。

J 委員

まだ、時間もあるがアンケートからの改善策など、学校運営協議会からの取り組みについてはどうか。教員の人事や施設の準備とか、オープンで意見をもらいたい。

H 委員

さきほどから出ているが、いろいろな問題があるが多古中とつながる土地があるかどうかという問題はあるが、そこを通せば近い交流ができる。中高の人事交流はかなり効果があったのではないかと。流れは変わっているところもあるが。専門学科、多古中多古高との定数枠があるが勤務体制などで校長に検討してもらいたいと思う。いろいろな改善をしていくと良いが、地域に信頼されるようになるためにこの中の1/3ぐらいでも確実にコツコツとやるのが大事でないかと思う。できることからやってみようと思う。

K 委員

今回のアンケート資料は内容の濃い充実したものです。各委員がもう一度よく読んで、じっくり話し合う時間を今後も取っていただきたいと思います。

J 委員

県立学校の改革推進プランが掲げている内容

- 1 生徒が夢を育む学校
- 2 生徒や教職員が生き生きとしている学校
- 3 地域の人が集いともに歩む学校

である。

これといった特色がないといっているが学力を上げるとか生徒指導とか基本ではあるが多古町の生徒がこの学校に来たいと思われるような魅力のある学校ににしたい。

存在価値をつくっていくということで学校運営協議会の中でつくっていきたいと思います。

ありがとうございました。